

Greeting from WASEDA

部長挨拶

早稲田大学バドミントン部部长 鈴木克彦



関一誠前部長の定年退職による部長退任に伴い、今年度より早稲田大学バドミントン部部长に就任しました本学スポーツ科学学術院鈴木克彦と申します。第64回早慶バドミントン定期戦開催おめでとうございます。早慶OB・OGの皆様はご存知の通り、関前部長は学生時代よりバドミントン界にて多面的なご活躍をされておりますが、私自身は競技経験がほとんどありません。しかし今年はリオデジャネイロ・オリンピックが開催され、本早慶戦が開催される頃には、バドミントン競技でのメダル獲得も決まっているかと思うと、楽しみでなりません。本学からは残念ながらオリンピック出場者はおりましたが、選出まであと一步の選手が複数名いたことを聞いており、学生諸君には次回東京オリンピックへの出場に向けてより一層頑張ってもらいたいと思います。

また、本早慶戦は、オリンピックに負けず劣らずの古い歴史を有しており、日本国内で実施している定期戦としては、最古の部類に入るかと存じます。第1回開催から途切れることなく続いているのも偏に早慶OB・OGの皆様方及び関係者の皆様方のご尽力によるものと思います。ぜひ今後もこの素晴らしい大会が50年、100年後も継続して開催されることを願っております。

最後になりましたが、両校の現役諸君ならびにOB・OGの皆様方が本大会を通じてより一層の交流が深まることを祈念致しております。

会長挨拶

稲門バドミントンクラブ会長 登坂 洋



第64回早慶バドミントン定期戦おめでとうございます。

今年にはリオデジャネイロ・オリンピックで女子ダブルス金メダル、シングルス銅メダル、男子ダブルスベスト8進出と大活躍でした。特に女子ダブルスのファイナルでは、16-19から高橋選手がレスリング伊調選手の土壇場での逆転金メダルが頭をよぎり、苦しくなったからって諦めないでいい、頑張れば何か起きるかもしれないとの気持ちでの逆転優勝は、見ている者皆を感動させてくれました。テレビでも紹介された日本選手の合宿で、砂浜での素振りやダッシュ等、体力技術の強化が、精神的な強さも作り上げたのでしょうか。

今年の早稲田大学の茨城夏合宿に、私は数十年ぶりに顔を出しました。猛暑の中のダッシュや基本の反復練習を見て、私の学生時代に秋田、新潟、石川の砂浜でダッシュを繰り返したことが、懐かしく思い出されました。今違うのは、水が飲めて、うさぎ跳びがなくなったことでしょうか。

今年にはオリンピックの関係か秋季リーグ戦が8月末から開始、9月上旬に東日本選手権、10月にインカレが行われました。そして今日は、4年生にとっては最後の団体戦です。

特に男子は、他の対抗戦では見られない5複10単の総力戦ですので、思い残すことなく全力でプレーしていただきたい。

そしてバドミントンを通じ、多くの友人仲間を作ってください。私の監督時代に、慶大主将だった馬場さんが音頭をとり、早大の木内、法大の岡野、日体大の権藤、四條畷大の北田等の皆さん方と、早慶を超えた同期会を行っているようです。

最後になりましたが、今年もまた日吉でお世話になることになり、準備運営にご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げますとともに、両校の発展を祈念し、挨拶とさせていただきます。

Greeting from KEIO

部長挨拶

慶應義塾体育会バドミントン部部长 岸田和明



慶早バドミントン定期戦は、今年で第64回を迎えました。これは両校のバドミントン部の歴史と伝統の重さを物語る数字であり、関係された方々が積み重ねられてきた努力を想像すれば、改めて感嘆の念を抱かざるを得ません。

言うまでもなく、各種競技における「慶早戦」は、早稲田大学・慶應義塾大学両校にとって他の公式試合とはまた違った意味をもつ、たとえ実力差があったとしても、互いに負けることのできない重要な一戦です。格上の早稲田に対して、慶應は意地を見せなければなりません。選手たちが慶早戦ならではの底力を出してくれることを大いに期待しています。

どのような結果になろうとも、「ノーサイド」（他競技の用語ですみません）の後は、十分に親睦を深め合ってもらえればと思います。大学間の垣根を越えて交わることのできる機会はいへん貴重であり、おそらく「慶早戦」だからこそ与えられるものです。精一杯戦い、語り合い、今日という一日を楽しんでください。

折しも、今年のリオデジャネイロ・オリンピックが開催され、バドミントンにも注目が集まりました。これを機会に、バドミントンが競技として、ますます発展することを願ってやみません。

会長挨拶

三田バドミントンクラブ会長 鈴木英夫



今年のバドミントン界の最大の出来事は、リオデジャネイロ・オリンピックでの高橋&松友ペアの女子ダブルス優勝に尽きると思います。リードされた第3ゲームの16-19からの5連続ポイントによる逆転優勝に日本中が歓喜したことが、昨日のことのよう思い出されます。

その後は、バドミントンとは全く関係の無いゴルフ仲間からも「バドミントンって、すごい競技だね」、「孫娘がバドミントンをやりたいと言い出した……」等の話があり、オリンピック効果の大きさを実感し、嬉しく思っております。

そして、第64回慶早バドミントン定期戦が開催されます。

私が3年前にOB会長になってから昨年までの慶應は、「男子5部・女子4部→2部」と上昇ペースでしたが、今年は男子が「春季2部5位・秋季2部6位（2部残留）」、女子が「春季2部6位（3部降格）・秋季3部4位」と、ゆるやかな下降ペースに転じつつあります。

そのような中で、男女とも1部の早稲田に慶應が挑戦するのですから、厳しい展開が予想されます。

しかし、2複3単のリーグ戦と違い、5複10単の慶早戦は何が起こるかわかりません。会場もホームグラウンドの記念館です。自分を信じて、自分の力を出し切り、自分に納得のできる試合のできることを期待しています。

最後に、慶早戦の開催にあたり準備等にご尽力いただいた皆様に感謝し、挨拶とさせていただきます。

この度、本学バドミントン部監督に選任され、今井茂満前監督から引き継ぐ形で就任したことをご報告致します。甚だ微力ではございますが、諸先輩方のお力添えを頂きながら当部の発展に全力を尽くす所存です。今後とも何卒ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

さて、今年も伝統の一戦を開催する季節が参り、昭和28年から一度も途切れることなく開催され、遂には第64回目を迎えることができたのも、ひとえに関係者の皆様方のご尽力によるもので、感謝申し上げますと同時に、監督として参戦できることを光栄に思います。また、昨年度から本学記念会堂建て替え工事のため、3年連続で慶應義塾大学日吉記念館での開催となり、慶應の皆様方のご厚意に重ね重ね感謝申し上げます。

今年度本学は、男女ともに関東学生春季リーグにて優勝を目指し臨んだものの、男子は5位、女子は4位という結果となりましたが、1年生から4年生まで全員で全力を尽くした結果と受け止め、今後も日々の努力をしていく所存です。

また、関東学生選手権においては、中西が女子シングルスで優勝、古賀穂が男子シングルスで優勝、さらには1年生の渡辺が男子シングルス3位と、チームとしては昨年インカレ以来の嬉しい結果が出ました。秋の大会では、東日本学生選手権にて、男子団体準優勝、我妻・中西が女子ダブルス優勝(中西は女子シングルスで準優勝)、松本・古賀穂が男子ダブルス3位(古賀穂は男子シングルスで優勝(2連覇))と本大会が開催される頃には、インカレにおける朗報を期待して頂ければと思います。

今年の早慶戦は、私自身が監督として初参戦となりますが、それ以上に特に4年生(井上、松岡、島田、我妻、金森)は、4年間の集大成として、いつまでも記憶に残るような名勝負となるよう全力を尽くしてください。また、1年生～3年生においても通常の大会とは全く異なる独特な雰囲気を持つ本大会に対して、臆することなく日頃の鍛錬の成果を存分に発揮する場として一丸となって男女勝利を目指してもらいたいです。また、近年は、部員の増加という嬉しい悲鳴の結果、この伝統ある早慶戦に4年間連続で単複出場することが中々難しい部員もおりますが、4年間の数少ないチャンスをものにして本大会の主役となれるよう日々の練習に邁進してください。

最後になりましたが、今年も慶應の現役及びOB・OGの皆様方と本大会及びその後の懇親会を一つのきっかけとして両校の友好がさらに深まることを祈念致します。

WASEDA  **KEIO**

特殊鋼他各種金属素材の切断加工販売いたします。

五味洵鋼鉄株式会社

代表取締役 **五味洵 努**(昭和63年慶應大学法学部卒)

本 社 横浜市都筑区川向町922-26
TEL045(474)4560 FAX045(474)0003
E-mail : go3buchi@f3.dion.ne.jp
郡山支店 福島県郡山市喜久田町菖蒲池22-165
TEL0249(59)1511 FAX0249(59)1516

『感謝の心』。この一年間は、改めてこの言葉の大切さを実感する年となりました。現役選手は更なる上位を目指し、日々の練習に尽力してきた中、慶應は、この一年間、早稲田をはじめとした幅広い方々に練習試合や合同練習等で胸を借りる貴重な機会を従前以上に賜り、日々の慶應だけの練習では得がたい多くの刺激や気づきを頂きました。

慶應義塾体育会バドミントン部は、OB・OGに築いて頂いた伝統を受け継ぎ、義塾内外の幅広い方々に支えて頂きながら、古豪復活、文武両道に向けて、このような貴重な機会を賜われる環境にあります。また、現役選手においては、一個人として大学でバドミントンが出来ることが当たり前ではなく、これまでにお世話になった恩師や、家族、友達など、幅広い方々に支えて頂いて、今の自分があり、大学でバドミントンが出来る喜びを実感する機会もあったと思います。

現役選手諸君、これまで諸君を支えて頂いた方々、今、正に支えて頂いている方々に、お世話になってきた恩返しのお気持ち、『感謝の心』を伝えるために現役選手が出来ることは何か考えてみると、その形の一つは、勝利という目標に向けて努力し、頑張っている姿をお見せすることではないでしょうか。

努力には即効性はなく、努力したからと言って直ぐに結果に結びつかないこともあるでしょう。しかし、困難に直面した時、今、自分が出来ることは何か自問してみると、必ずや前に進める選択肢があるはずで、悔しさは過去ではなく、未来にぶつける。バドミントンであれば、その悔しさを将来に向けての練習にぶつけ、ポジティブに、前向きに、真摯に努力することが大切ではないでしょうか。

努力は無駄にはなりません。必ずや自らの糧として返って来ます。そして現役選手諸君は、厳しい練習が続く中でも努力出来る才能を持っています。これからは今まで以上に諸君を支えて頂いている方々への『感謝の心』を大きなモチベーションとして、より一層、努力出来る才能に磨きをかけ、更に努力を重ね、まだ眠っている諸君のポテンシャルを導き出して欲しいと期待しています。

慶應義塾体育会バドミントン部は、「プレーヤーである以上、高位を目指し、如何なる環境でも目標に向けて最善を尽くす」との想いを抱いて、本日の慶早戦を迎えました。慶應の現役選手諸君、昨年よりも1ポイントでも、1ゲームでも、より多くの勝利を勝ち取り、これまでの練習の成果を思う存分発揮して欲しいと思います。

最後になりましたが、早稲田の現役選手諸君、今年の慶早戦でも、是非、諸君の実力を遺憾なく慶應に見せつけてください。慶應は本日の慶早戦で対戦した諸君との試合を糧にして、昨年よりも今年、今年よりも来年へと着実に一歩一歩前進して行きます。

KEIO VS WASEDA

各種 生あん
煉あん
ねり

製菓材料の御用は
品質本位の当店へ!!



株式
会社

清水製あん所

本社・工場 横浜市南区中村町3丁目203番地の14 電話 横浜 (045) 261-1523 香
ねりあん専門工場 横浜市泉区飯田町 1124 - 3 電話 横浜 (045) 802-1523 香

早稲田大学 スポーツ科学部 平成24年卒

片山 佳菜

この度は、「第64回早慶バドミントン定期戦」の開催、誠におめでとうございます。今年もまた両校の熱い戦いが繰り広げられると思うと、とても楽しみです。

早いもので、卒業して4年がたちますが、改めて早慶戦という伝統と歴史のある試合に出場することができたことを誇りに思います。すべてにおいて負けたくないと思っ、校歌、応援、アップにまで「打倒!慶應」を意識し、戦っていたのを覚えています。

特に、私の同期である及川の早慶戦にかける思いがとても強かったのが印象に残っています。「絶対に勝ちたい!!!」という強い気持ちで早慶戦に向けて努力をしていました。4年生で迎えた最後の早慶戦では、同期の竹内君と対戦しました。結果は0-2で負けてしまったのですが、延長戦にまでもつれる激しい戦いを繰り広げてくれました。その試合は本当に感動し、こんなにも熱くなれる相手は慶應以外にはいないなと思いました。早慶戦を通し、よきライバル、よき仲間と出会えたことは私の財産です。

ぜひ、現役の皆さんには、この伝統ある早慶戦独特の雰囲気の中で試合ができる喜びを感じながらオリンピック並みの最高のプレーをしてほしいと思います。両校が全力でぶつかりあう姿を楽しみにしています。

特に4年生にとっては最後の大会になります。4年間やってきたことをこの早慶戦で出し切り、悔いのない戦いをして下さい。出る人、出ない人関係なく、チーム全員にとって最高の戦いになることを期待しています。

最後になりましたが、この定期戦を開催、運営するにあたり携わっていただいた方々に深く感謝申し上げます。そして両校のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

WASEDA

早慶戦
に
寄せて

KEIO

早稲田大学 基幹理工学部 平成28年卒

太田 宗孝

第64回早慶バドミントン定期戦の開催、誠におめでとうございます。伝統ある行事が今年も無事に開かれることを心から嬉しく思います。

近年の早慶戦は以前にもまして熱戦が繰り広げられているように感じます。64回を迎える歴史ある早慶戦ですが、この時期になるとOB・OGの皆様には様々な思い出や記憶が呼び起こされるのではないのでしょうか。昨年の私の代では主将の古賀と副将の齋藤が遠征で欠場という中での早慶戦でした。早大バドミントン部の大黒柱である2人がいないという不安を抱きながらも、部を引っ張っていかなければならないという想いで臨んだ試合でした。結果は皆様の応援に支えられながら、チームが一致団結し、慶應に勝利することができました。主将戦には高校からの同期である本多が出場し、見事勝利を収めてくれました。とても嬉しかったことを覚えています。主将戦中の両校の一体感、試合終了後の会場を覆う雰囲気を仲間と味わうことができたのは忘れられない思い出の一つです。

私個人の結果といたしましては、2試合出場して1勝1敗。大学生活最後の試合を全勝で終えられなかったことは今でも悔しく思います。早慶両校の選手の皆さんには悔いの残らぬよう、万全の準備で試合に臨んでほしいと思います。

今年の早慶戦も、新たな歴史の1ページを飾るにふさわしい熱戦が繰り広げられることでしょう。みなさんには勝ちに拘ることも大切ですが、早慶戦を大いに楽しんでいただきたいと思います。独特で慣れることのない緊張感とプレッシャーの中ではありますが、チームやライバル、私を含め、早慶戦に関わる方々全員と楽しい思い出を共有していただきたいと思います。

最後になりますが、今大会を開催するにあたり、運営に尽力してくださいました方々に心より感謝申し上げます。早慶両校のさらなる成長を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

慶應義塾大学法学部法律学科 平成18年卒

坂根 洋介

慶早戦は慶早バドミントン定期戦を迎え、心よりお慶び申し上げます。また、本定期戦の開催に向けてご尽力されてきた両校の両方に感謝申し上げます。

今年度はアテネ・アテネでオリンピックが開催され、バドミントン・女子ダブルスで日本初の金メダル、女子シングルスで銀メダルとすばらしいニュースがありました。バドミントンに対する国内の注目もますます大きくなっていると感じています。

また、慶早戦を戦った選手の中からメダリストが誕生することを、また強く願わずにはられません。

慶早戦といえば、現役時代の4回すべての様々なシーンが記憶に鮮明に残っていますが、出場した2年生以降3年連続でシングルスの対戦相手となったことが真っ先に思い浮かびます(確か第54回のパンフレットの桂君による寄稿文にも同様の話が載り、本当にやはり強い思い出のようです)。「また今年も当たったね。」とお互い言いながらの桂君との試合は、年々差をつけられた結果となりましたが、試合中はただただ1球でも多く拾い、1点でも多く点を取ることに一所懸命でした。慶早戦の独特の雰囲気は、本当に不思議なもので、たくさんの応援がとて力を与えてくれたことを覚えています。自分の背中に「慶應義塾」の名があり、その歴史を最も強く意識するのが、慶早戦だったかも知れません。

慶早戦を経るたび、両校の関係が他のどの大学にもないであろう、とても親密な関係であることを強く感じます。最も勝ちたい相手であり、最も応援をしたい友である。早稲田と慶應の関係は、そういう真のライバル関係なのだと思います。他のスポーツも含め、両校が完結する際には、慶應を思い切り応援しますが、そうでない場合はやはり慶應の次に応援するのは早稲田です。大学スポーツを興行すると、両校が頂点を争う姿をまた常に期待してしまいます。

早稲田は1部リーグで上位を争えるようなチームであり、そう簡単にはポイントを取らせてはくれないでしょう。しかし、慶應も厳しい練習を乗り越え、着実に力をつけています。1球1球に食欲に、思い切りぶつかってほしいと思います。

今日の定期戦においても、両校の選手たちが思う存分実力を発揮し、すばらしい試合を繰り広げてくれること、そして、これからもずっと続いていく友情を育ててくれることを心から願っております。そして、慶早戦の歴史に新たな1ページを。

KEIO

慶早戦
に
寄せて

WASEDA

慶應義塾大学 経済学部 平成元年卒

春名 肇子

慶早定期戦の開催にあたり、心よりお慶びを申し上げます。

慶早戦といえば、日露戦争前夜の1903年に行われた野球のそれが第1回とのこと。バドミントン部においても、昭和28年に始まり今年で64回目を数える、伝統ある戦いです。単に勝敗を争う試合ではなく、両校が切磋琢磨する交流の場として、日本のスポーツ界をリードしてきた歴史があります。それだけに、塾歌斉唱、応援指導部によるエール交換など、他の試合にはない厳かな緊張感と、一転して試合終了後の和やかな交流会の記憶に、今なお胸が熱くなります。

私自身は、在学中男子女子とも一度も優勝することがないという、厳しい4年間を過ごしました。特に女子は、私が入部した年は、前年まで活躍したレギュラーのうち3人が卒業し、レギュラーの経験があるのは4年生1人だけ。あとは2年生1人と1年生が私を含め2人という状況から、恐縮しながら慶早戦のコートに立ったものの、文字通り手も足も出ず大変悔しい思いをしました。それから1年、不器用ながらも泥臭い練習を重ね、同じ対戦相手に翌年辛くも白星を挙げられたことは、ささやかながら温かい思い出です。

チームの勝利にこそ結びつかなかったものの、その時に体感した、「練習は不可能を可能にする」という小泉信三先生の名言は、以来私の座右の銘となり、今も体の奥深く根付いています。「無数の不可能を可能にするものは、説明でなく、説教でなく、ただ黙々として続けられる練習これのみである」。これは、勝っても負けても、必死で戦ったからこそ得られた、まさに人生の糧と言えると思います。

戦績として記される数字の奥に、選手の数だけ、こうしたドラマがあるはずですが、もちろん勝つことは大切ですが、慶早戦の戦果は決してそれだけではありません。今日この会場でもぜひ、各選手の糧となるような名勝負がたくさん生み出されることを期待しています。

慶應義塾大学経済学部 昭和63年卒

安 保 実

第64回慶早定期戦の開催、おめでとうございます。卒業してほぼ30年、久しく日吉に顔を出していない中で、慶應の現役の皆さんとは今年8月に男子の一部メンバーがトヨタ合宿に来られた際、東海地区OBとの食事会に参加いただき、近況を聞かせていただいていたありがとうございました。(練習場所が記念館の真ん中ではなく、左側になっていたことや、その場所がバドミントン部専用ということ。秋のリーグ戦が8月末から始まるということに驚きました。)

一昨年は女子の小松さんが一宮インカレの際に名古屋にも来てくれましたね。来年以降も、現役の皆さんは合宿でも何でもいいので、是非名古屋に足を運んでください。(現役の皆さんが来てくれると、OBの出席率が飛躍的にアップします)

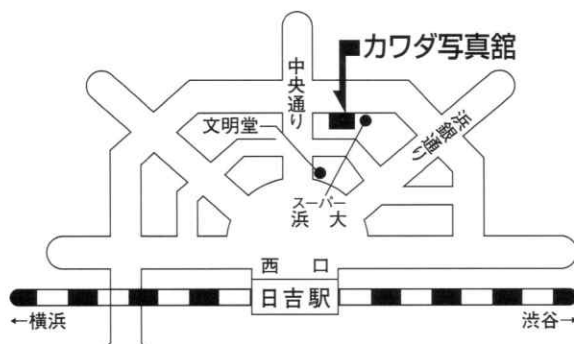
さて秋のリーグ戦も終わり、慶應男子は2部残留を決めたとのこと。この紙面をお借りして、お祝い申し上げます。おめでとうございます! ほんとによかった!

そして、今日行われる最大のイベントである慶早戦。慶應、早稲田両校とも、練習の成果を十二分に発揮していただき、熱い戦いを繰り広げていただけることを期待しております。特に4年生の皆さんは、この4年間バドミントンに打ち込んできた並々なぬ思いがあるかと思えます。その集大成として、自分の持ちうる全てを出し切っていただけるよう願っております。



- 卒業記念写真
- 出張記念写真

- 各種証明写真
- 就職用写真



カワダ写真館

〒223-0062 横浜市港北区日吉本町1-2-7

Tel 045(562)3668(スタジオ)

045(562)3667(自宅)

営業時間 午前10時～午後6時

早稲田大学 教育学部 平成28年卒 (前年度主将代理)

本多朝陽

第64回早慶バドミントン定期戦が今年も開催されますこと、誠にありがとうございます。伝統ある一戦にこうして関わることができることを心より嬉しく思います。

近年の定期戦は以前にも増して盛り上がりを見せ、部員やOB・OGの皆様をはじめとした来場者の数も増え、早稲田・慶應関係者にとっては欠かせない大変活気のあるイベントになっているように感じます。64年という長い歴史を誇るこの定期戦、OB・OGの皆様など観戦者それぞれに様々な思い出と記憶を蘇らせてくれることと思います。早いことに私も卒業生として定期戦を迎えることになりました。入学したばかりの一年次では、他の大会とは異なる独特な雰囲気緊張したことを今でも鮮明に覚えています。また昨年は、他の大会と重なり主将の古賀、副将の齋藤が欠席することになり、代わりに私が主将戦に出場するハプニングがありました。それまで定期戦には何度か出場させていただいておりましたが、この主将戦だけは特に緊張し、しかし早稲田の主将戦を任された以上、負けるわけにはいかないと全力を尽くし戦いました。劣勢だった試合もチームメイトやOB・OGの皆様の応援のおかげで何とか勝利することができ、私にとって生涯誇れる思い出になりました。

また、定期戦後の懇親会も早稲田・慶應ならではのイベントではないかと思えます。それまで敵同士であった両校の選手が、夜にはラケットを盃に替えて友情を育む懇親会はこの定期戦の誇れる素晴らしい伝統です。早稲田・慶應双方の学生からOB・OGの皆様まで、これほど多くの方々と親睦を深めることが出来る貴重な機会を大切にしていってください。

最後になりますが、今大会を開催するにあたり運営に尽力して下さいました方々、また常に早稲田大学、慶應義塾大学の発展を願い、支え続けてくださるOB・OGの皆様へ感謝申し上げます。両校の熱い戦いを期待すると共に、更なる活躍を祈念いたしまして、私の挨拶を締めさせていただきます。

WASEDA

早慶戦
に
寄せて

KEIO

早稲田の杜のケーキ屋 ディ・スタイル・トキョ

D-style
TOKYO

〒169-0071
新宿区戸塚町1-102 MYビル
TEL/FAX 03-5858-6610
info@d-style-Tokyo.com
営業時間: 10:30~20:30
定休日: 日曜日
カフェスペース: 15席



慶應義塾大学 経済学部 平成28年卒 (前年度主将)

紙谷 優明

第64回慶早バドミントン定期戦の開催、誠にありがとうございます。

ふとした拍子に、一年前の記念館での定期戦が思い出されます。それぞれのシャトルを打つ音、シューズの擦れる音、応援の声、歓声。本多君や太田君と打ち合ったラリー、ネット越しの表情。そして、最後に部員で歌った塾歌。どれもが私にとってかけがえのない瞬間でした。今でもあの瞬間を思い出すと、胸の奥がチリチリと熱くなるような感覚を覚えます。

今思い返してみるとやはり、このような、諸先輩方の紡いできてくださった、伝統ある慶早定期戦に携わらせて頂いたことは光栄以外の何物でもないと感じています。是非、慶早両校の皆さんは、この重みを感じつつ、全員で一丸となって大会を作り上げ、新たな慶早戦のページを作り上げて欲しいと思っています。そして、出場される選手の皆さんは、積みあげてきた練習のすべてを、この記念館のコートで出し切ってもらいたいと思います。そうすることで、本定期戦が両チームにとって、一生に一度の忘れられない、最高の濃い経験になるのではないかと思います。

最後になりますが、今回も慶早バドミントン定期戦が素晴らしい戦いになること、また今後の両校の更なる活躍を祈念いたしまして、私の挨拶を締めさせていただきます。



祝 早慶バドミントン定期戦

いつもご利用ありがとうございます。

OB・OGの皆様にも同窓会・クラス会・各種パーティーのご予約承っております。

慶應義塾日吉ファカルティラウンジ

営業時間 AM 11:00~PM 8:00

定休日 日・祝日 (パーティ予約については応相談)

今年も早慶バドミントン定期戦を迎えられたことを大変うれしく思います。また、大学生活最後の試合が古くから伝統のあるこの試合であることを誇りに思います。早慶両校の伝統を心に、全員で一生懸命取り組みたいと思います。

昨年の早慶戦が終わり、前主将から早稲田大学バドミントン部の主将という立場を引き継いでから瞬く間に1年が過ぎてしまいました。この1年間、部を引っ張る立場であるからこそ、今まで経験したことのなかったような壁にぶつかったこともありました。同期や後輩に支えられながら部員全員で乗り越えてきました。そして今日、1年間の成果を出し切り早慶戦勝利という誇るべきバトンを来年にしっかりと引き継いでいけるよう、全力で戦いたいと思います。

最後になりましたが早慶戦の開催にあたりご協力いただいたOB・OGの方々をはじめ、すべての方々に感謝を申し上げます。今年の早慶戦も選手全員が全力で、且つ気合いのこもった戦いをお見せしたいと思います。

WASEDA VS KEIO



Tomo Dental Clinic

ともデンタルクリニック

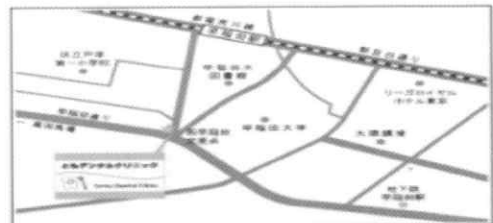
Tel:03-3207-1651

診療科目

一般歯科・口腔外科・小児
歯科・予防歯科・審美歯科・
ホワイトニング

診療時間

月～金 9:00～13:00 14:30～19:30
土曜日 9:00～13:00 14:00～17:30
日曜・祝日: 休診



初めに、今大会を迎えるに当たりご尽力くださいました関係者の皆様、また、歴史ある大会を今日まで紡いできてくださった両校OB・OGの皆様に厚く御礼申し上げます。

本年も慶早バドミントン定期戦という伝統の一戦を開催できること、そしてこの素晴らしい舞台に主将として臨むことを、大変誇らしく、名誉に感じております。

私が初めて慶早戦を観戦したのは高校一年生の時であります。まだバドミントンを始めたばかりの私にとっては、慶應の先輩方の熱のこもったプレーやそれを跳ね返す早稲田の先輩方のプレー、そして記念館を覆う独特な雰囲気まで、すべてが印象的であり、この経験がその後のバドミントンへの向き合い方を決定づけました。

月日は流れ、気づけば現役として最後の慶早戦を迎えることとなりました。今日という日まで、我々は基礎を重視した練習を日々積み重ね続けてきました。更に上位を目指すチームの土台を作るべく、先輩方が作り上げてきた基礎をより強固にすることを考え続けてきました。また、上昇気流に乗るチームとして、部を取り巻く環境が大きく変化していく中で、注目をされるチームの自覚を持ち続けてきました。苦しい時も多々ありましたが、その度にチーム一丸となって、皆で乗り越えてきました。

ここまでチームが戦い抜く事が出来たのは、ひとえに監督やコーチをはじめ、OB・OGの皆様、保護者の方々など、どんな時でも我々を気にかけて、応援し、そして支えて下さった全ての方々のおかげです。

今日、記念館という舞台で、日頃の感謝を胸に、コートでこれまで積み重ねてきたものをすべて発揮することを誓い、主将挨拶とさせていただきます。

KEIO VS WASEDA

「歴史と伝統」!! 手作りの店
部員会に! その他のパーティーに!

山 食

慶應義塾三田キャンパス内
TEL 03(3453)5971

WASEDA



主将
井上 博貴
政経4
早大学院 (東京)

部内カーストの頂点に君臨し、絶対的な権力を誇る。彼に歯向かうものは即、打ち首ならぬ跳びである。



主務
松岡 徹
文構4
新宿 (東京)

アイテムはランシューとブラックエプロン。弱点は女性。強みはリゲインを一日2本飲むことである。主務と声出して部活を引っ張る最年長。



女子主将
島田 きらら
スポ科4
青森山田(青森)

女子を引っ張る頼れるキャプテン。面倒見のいい姉御肌である。試合中に出す声は異様に高い。



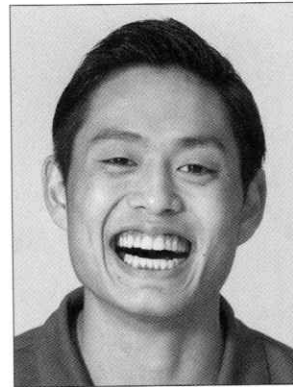
我妻 美沙紀
スポ科4
聖ウルスラ英智(宮城)

ミーミーミー。誰もが認める早稲田の人魚姫。由来はご想像にお任せします。粘り強く頼りがいのあるプレーは必見!!



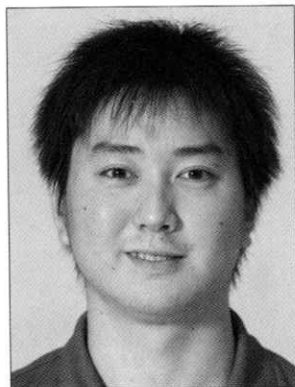
金森 望
スポ科4
九州国際大付属(福岡)

早稲田のカワイイの座を受け継いだ、バド部のぱみゅぱみゅ。本人にしか理解不能な世界で生きているが、やる気になった時の彼女は一味違う。



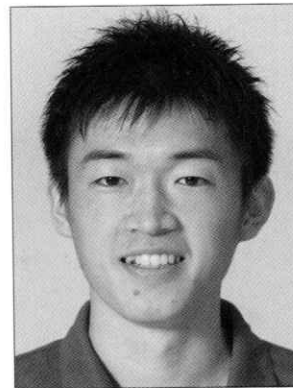
松本 康平
スポ科3
埼玉栄(埼玉)

早稲田バド部の精神的支柱。彼がいなければ飲み会は始まらない。日焼けサロンには行ってません。



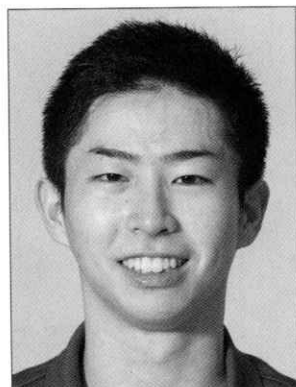
中里 裕貴
スポ科3
埼玉栄(埼玉)

ザティオさんの愛称で親しまれている早稲田の恐竜。強大な原始エネルギーの力で相手コートを粉碎する。



富岡 寿将
社学3
八代東(熊本)

早稲田バド部1長身。夜行性。そのため朝がちよっぴり弱め。早く起きなければならぬ日は寝ずにオールする覚悟である。



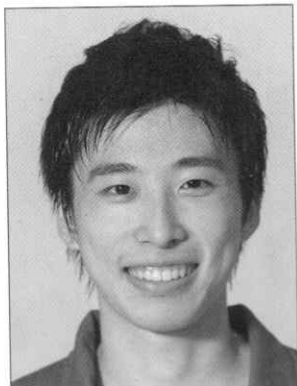
古田 時喜也
法3
早大本庄(埼玉)

最近はバドミントンよりポケモンGOに励んでいる。家の中でもポケモンGO。彼女とのデート中もポケモンGO。古田さん、周りによく見てくださいね。



副務
田島 宏樹
文構3
早大本庄(埼玉)

THE縁の下の力持ち。誰よりも自分の存在意義を追求する男。時には哲学的とも思われる理論を語る。部を支える心意気は間違いなくトップである。



江藤 怜央
スポ科3
生田(神奈川)

自称試合に強い男兼体操選手。一見クールに見えるがデレデレニヤニヤスリスリという知る人ぞ知る第二の人格が存在する。フォア前と突然の倒立に注目していただきたい。



中西 貴映
スポ科3
大宮東(埼玉)

早稲田女子のエース。単複で女子部を引っ張る存在。いつもはかわいいが、試合中は誰もが惚れる程カッコいい。怒ると怖いのであまり変なことを書けない。



松岡 英美
スポ科3
九州国際大付属(福岡)

えへへと笑う元気な子。気分屋のため扱いが難しいが、シャイでもある。しかし仕事についての妥協は一切ない。みんな、頑張ろう。



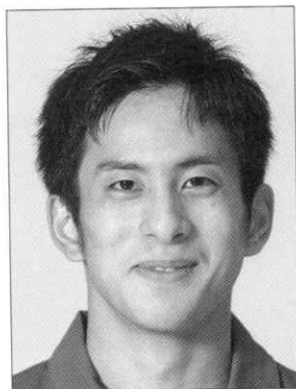
三谷 奈央
文構3
高松第一(香川)

早稲田を代表して学連で精を出す仕事人。常に冷静に物事を見ているが、彼女のテンションが一度上がったら最後、もう誰も彼女を目でとらえることはできない。



松田 美架
スポ科3
茗溪(茨城)

一部の部員からご意見番として慕われている。たぶん女子の中で一番食べる。甘いものが大好物。美味しい食べ物があるところには彼女が必ずいるのである。



古賀 穂
スポ科2
富岡(福島)

我らのチャンピオン。日々着実に増加していく体脂肪率をもろともしない華麗なフットワークを誇る。今後も彼から目を離すことはできない。



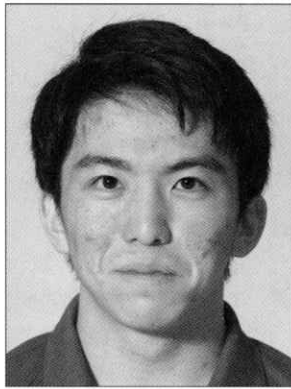
菅原 栄史
スポ科2
聖ウルスラ英智(宮城)

適当なのか真面目なのかわからない、でも爽やかという言葉が当てはまる男。成績優秀で表彰されたが基本的にやることはチャライ。



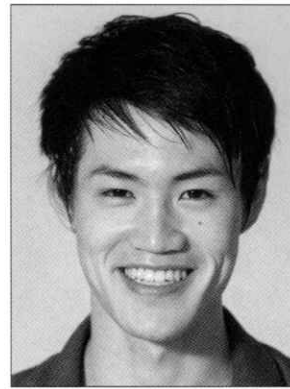
難波江 諒
基幹理工2
早大本庄(埼玉)

チャームポイントが大量の汗と毛のTHE不思議ちゃん。そして、みんなが認めるラーメン博士。ラーメンのことなら僕に聞くべし。



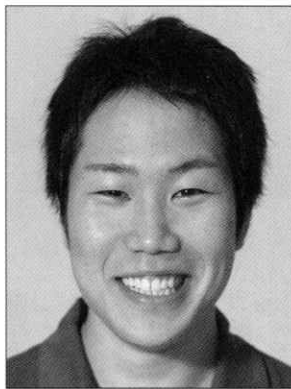
大木 貴裕
教育2
早大本庄(埼玉)

何事にも堅実さを重要視する安定マン。最近メンタルの強化が進んでいるように見える。やはり何か心の支えがあるのだろうか・・・



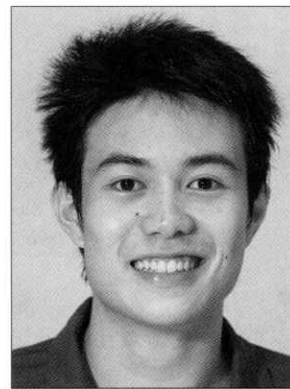
上村 賢
文構2
西武台千葉(千葉)

汗かきキャラの一人。彼の使うコートでは、一ゲームが終わるたびにコートをモップ掛けしなければならない。彼女と同じくらいお兄ちゃんが大好き。



上田 健太郎
スポ科2
長浜(滋賀)

昨年、最強の初心者を目指すと豪語して電撃入部した謎の青年。しかし入部した本当の目的はいまだ謎に包まれている。



大西 ジャンリッチヴィンセント
政経2
東京学館浦安(千葉)

自称陰キャ。バドミントンへの愛は早稲田でもトップレベル。何もしなければイケメンだが、些細なことで落ち込む。大丈夫、努力はいつか報われるよ!



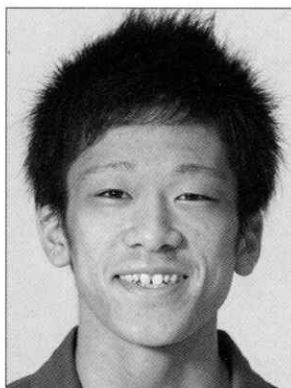
中村 幸
スポ科2
富山国際大付属(富山)

心を許した者にのみ、本当の姿を見せる幻獣。みんなにいじられることを楽しんでいるように見える。名前の通り、幸せを手に入れてほしい。



岩崎 未来
国際教養2
Kインターナショナル
スクール(東京)

国際教養学部だが帰国子女ではないという希少種。もちろん英語はペラペラ。中身もペラペラ。



渡辺 俊和
スポ科1
埼玉栄(埼玉)

早稲田新聞に載った自分の写真を、ツイッターのプロフィール画像に設定している自分大好き人間。先輩にも基本的にタメ口だが、なぜか憎めない存在。



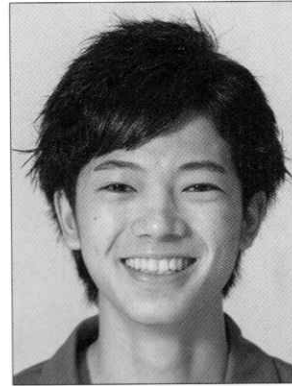
浅原 大輔
スポ科1
聖ウルスラ英智(宮城)

宮城からやってきたインターハイ2位のパリピ。OFFの日は率先して企画を立て全力で楽しむ。勢いなら誰にも負けない。



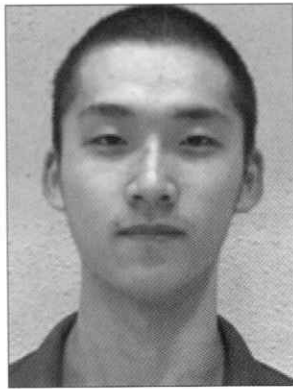
吉村 徳仁
スポ科1
高岡第一(富山)

人一倍練習熱心かつ人一倍心配性。
常に自分のニオイを気にしている。
大丈夫、全然臭くないよ。



鈴木 朋弥
商1
聖ウルスラ英智(宮城)

一見しっかりしているが、やはりウルスラ特有のチャラさも兼ね備えている。
前衛の技術は折り紙付きで、そこだけなら部内トップとの声もちらほら。これからの彼に注目である。



田中 敬一郎
社学1
早稲田渋谷シンガポール校(シンガポール)

シンガポールからやってきた秀才。人の間違いを正してくれる優しい青年だが、いつも裏目に出る。
チャームポイントは鎖骨。自転車乗るときは気をつけようね。



桃井 伶実
スポ科1
金沢向陽(石川)

女子期待のルーキー。表向きはにこにこしているが、時々ボソッとつぶやく愚痴はとてつもなく辛辣である。
将来怖い先輩にならないようにね……



松本 茜
社学1
九州国際大付属(福岡)

今年の新入生一の天然キャラ。滑舌が悪すぎて、意味不明な言動を繰り返す。バドミントンをしている時だけはまともに見えるかもしれない？



中根 智華
教育1
関東第一(東京)

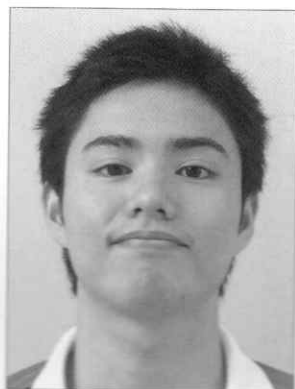
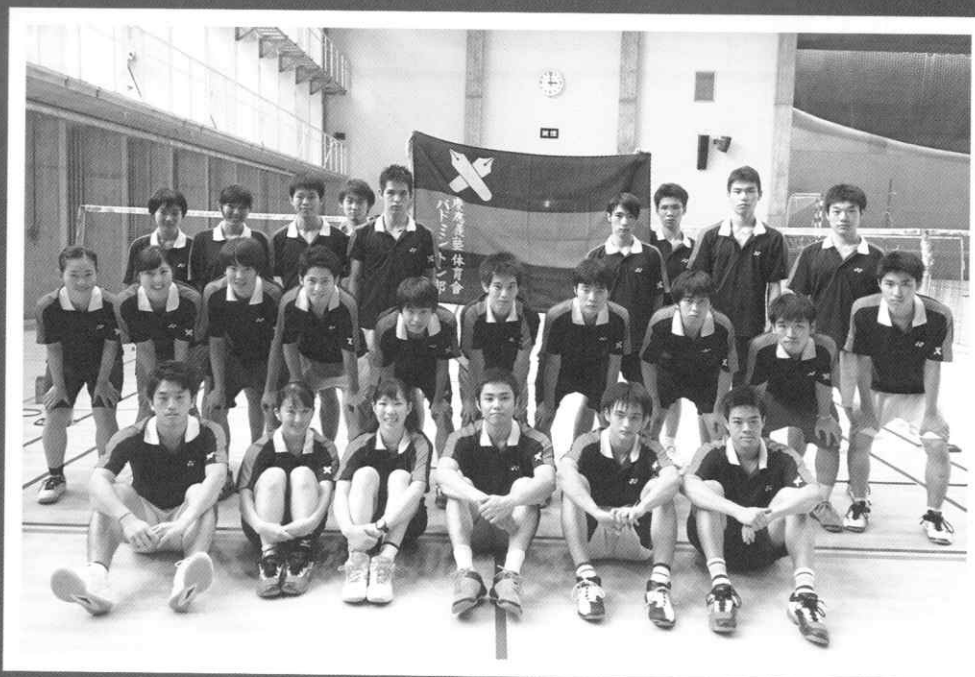
先輩に従順なかわいい小学生。とにかくイケメンな外人に目がなく、常に出会いを探している。
そのアクティブな性格で、コート上をすばやく駆け回る。



片桐 悠夏
人科1
西武台千葉(千葉)

いつも時間ぎりぎりに現れるため、名前と掛けてギリというあだ名がついた。天然のように見えるが、おそらくはマイペースなだけ。片桐はいりばは親戚ではない。

KEIO



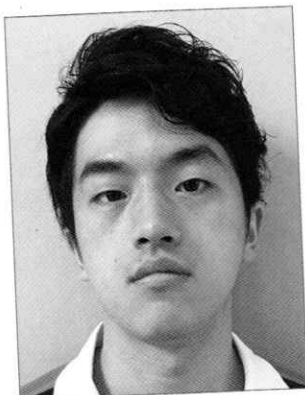
主将
松井 佑樹
法法4
慶應義塾(神奈川)

バドミントン愛が非常に強く、辛くても気合いで乗り越える。自分の身体をこれでもかというほど鍛え上げ、自らトレーニングを行うことによってチームを引っ張る。その精神の根底には「豚星。」の存在がかなり大きいとされている。
※「豚星。」とは彼がとても大好きな元住吉にあるラーメン屋である。



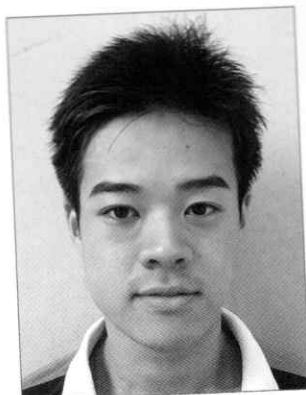
副将
石山 溪也
理工4
山手学院(神奈川)

おそらく彼ほど発言力のあるものはいない。素早いフットワークや鋭いショットなどで、部の中でも高い実力を誇り、また真面目に仕事をこなすことから、部での信頼が厚い。



主務
村山 卓
商4
東海(愛知)

常に優しく、後輩思いな先輩です。たまに、特定の人を厳しく指導することがありますが、気にしないでください。それも優しさ、彼の愛です。今年は、大好きな同期皆木と慶早戦勝利を目指します。



皆木 真太郎
総合4
筑波大学付属(東京)

慶應義塾の誇るお笑い芸人皆木真太郎。今までお笑いに命をかけ、時にはいじられ系芸人、時には大食い系芸人と呼ばれ、皆に愛されてきた。そんな彼も最後の夏はバドミントン漬けを敢行し、慶早戦では、打倒早稲田を目指す。



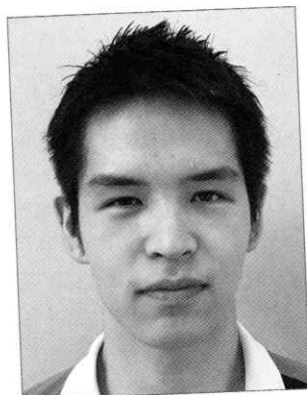
女子主将
小松 鮎実
環境4
西武台千葉(千葉)

誰よりも自分にストイックな女子主将。今日も今日とてトレーニングに励みます。そんな彼女の癒しは、本棚に入りきらない、かつ綺麗に並べられたマンガの数々です。



女子主務
高野 静香
法政4
横浜翠嵐(神奈川)

食べるのがとにかく大好き! 野球、横浜に関する話をする時の目の輝きはまるで少女漫画のようです! 全力プレーで有終の美を飾ってくれることでしょう。



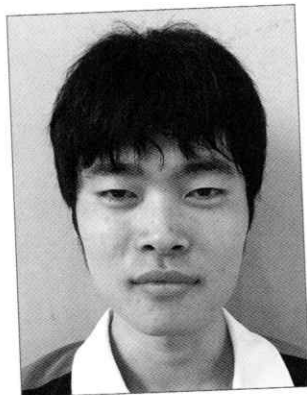
上村 聡
文3
西武台千葉(千葉)

汗をかく量は部内一を誇る我が部のエース。どんな試合でも地雷(汗)を撒いてからコートチェンジをするその厄介さで、相手選手をイライラさせる。早稲田の選手である弟のことをいつもいじっているが実は愛情の裏返しなのである。



関根 章史
文3
両国(東京)

バドミントン大好きです。つらい練習のときは、大声を出して部員を鼓舞します。また、最近はクラシックにはまっています。得意のダブルスで、早稲田を倒します。



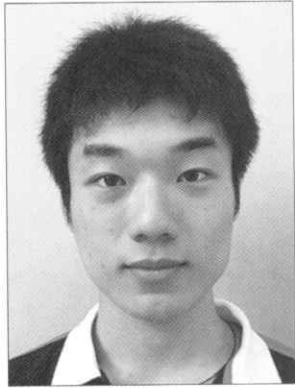
副務
荒川 智哉
理工3
東葛飾(千葉)

全てにおいて忠実な姿勢を示し、先輩、同期、後輩から絶対的信頼を得ている。口では疲れたと言っているが、見た目はまったく疲れた様子を見せない。誰もが辛そうに長距離を走っている中、涼しい顔をしてものすごい速さで走る、ポーカーフェイスの持ち主でもある。



石橋 太陽
理工3
錦城(東京)

我らが頼れるMr.Brain。高い技術と気迫あるスマッシュで相手を翻弄する。多忙な中、部員のガット張りもしており、張り職人としての顔もある。



長谷川 穂
理工3
東葛飾(千葉)

膝の怪我から復活しました。そんな彼の慶早戦に対する思いは人一倍あります。部員全員で仲良くお菓子を食べてます。鍛えられた肉体から放たれるスマッシュで、早稲田を倒します。



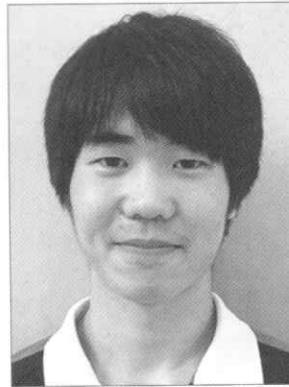
加世田 大梧
薬3
武蔵(東京)

薬学部から電撃入部した期待の3年生。後輩にいじられても笑いながら受け入れてくれるその心は、日吉記念館よりも広い。その心の広いカバー力で、コート縦横無尽に駆け回る姿は、相手の心を包み込みミスを誘う。



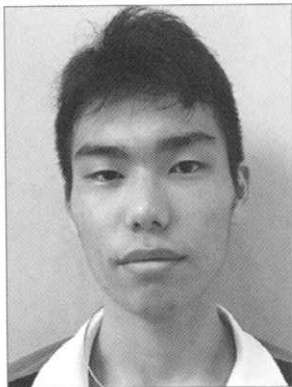
川原 優
総合3
九州国際大学付属(福岡)

いつもエネルギー満ちたお姉さんのような存在。可愛らしい雰囲気も一度コートに入ると一変、パワフルなプレーに圧倒されること間違いなし!団体戦に強い彼女の試合にご期待ください!



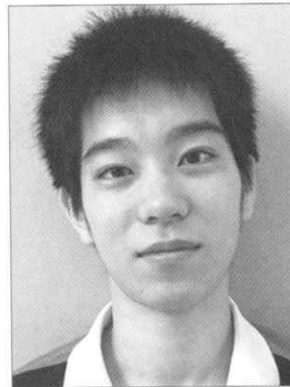
井本 直孝
経済2
慶應義塾NY学院(NY)

はるばるニューヨークから海を渡ってきた男。英語はもちろん、服の脱ぎ方も本場のセクシーさを兼ね備える。大学始めながらも、バドミントンでもその才能を開花。上手い選手のプレーを録画し日々研究、着着と慶早戦への準備を続けてきた。彼のプレーには期待だ。



高山 智也
法政2
慶應義塾(神奈川)

部内一の身長を誇る。その長身から繰り出されるスマッシュは、角度、スピード諸々、日に日に威力を増しています。また、暇さえあれば英単語帳を開き英単語力の向上にも精を出している。去年から進化した彼の技術、英単語力に乞うご期待!



榎本 勝行
理工2
川越東(埼玉)

きつい練習を誰よりも全力でこなす。そのため体力も入部時より付き、部内でもその持久力は高い。しかし練習中、疲れとともに彼の首は左に傾いていく。傾きの度合いで、疲れ具合、また練習の強度も測れる。



高嶋 道
総合2
富岡(福島)

常に練習は100%。真夏の灼熱の太陽の下でのランニングでは、異次元の速さで駆け抜ける。実はある特殊な条件が満たされると、彼のポテンシャルが全開、スピード、アタック力、精度、予測力は30%ほど向上すると言われている。ストロークに練習し続ける慶應の2年生エースは2年連続の慶早戦勝利を目指す。



野田 龍
総合2
湘南(神奈川)

バドミントンをするときには全力でバドミントンをし、遊ぶときは全力で遊ぶ、オンとオフがしっかりしている。素早い動きを武器とする。声が高く大きいことから、彼の所在は容易に把握できる。



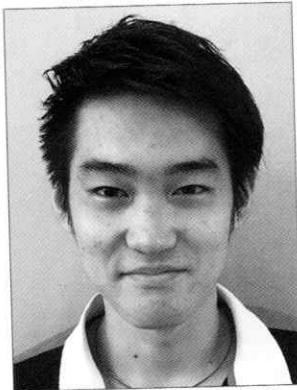
女子副務
富岡 有希奈
商2
横浜国際(神奈川)

気の配り方、それはまさにお母さん!そんな彼女のきめ細やかさは練習に対する態度、プレーからも見てとれます。苦手なセミの鳴く季節も終わったことで一層力強いプレーが見られることでしょう!



片山 有香里
経済2
鷗友学園(東京)

7年間続けたソフトボールで培った筋肉は、部内一かもしれません。目を瞪る速さで日々上達中です。気配り上手で優しい片山は、まさに縁の下の力持ち!



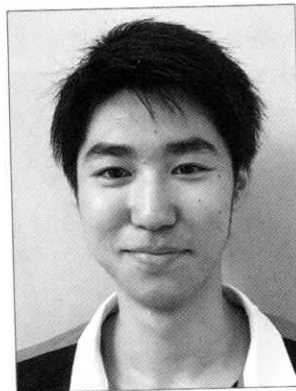
清水 遼郁
経済1
慶應義塾(神奈川)

慶應義塾高校出身のイケメンリーダー。J(塾高)の意志を継ぐ者である彼は、塾高出身のキャプテンの猛攻?のおかげで成長の一端をたどっている。スマッシュのスピードはまるで東北新幹線を思わせる速さを誇るが、たまに碧越西線に様変わりする。その緩急のついたショットで相手を翻弄し、早稲田から一勝をもぎ取ってくれることだろう。



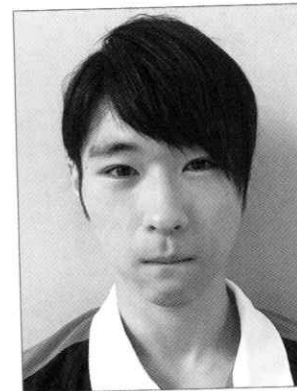
金子 凱
法政1
公文国際学園(神奈川)

ガタイの良いガイ君。とにかく先輩の言うことに対して緊張しながら「はい…!」という姿は、入学当初から変わっていない。その初心を忘れないひたむきな姿勢は、相手にプレッシャーを与えることは間違いない。今後の活躍に期待である。



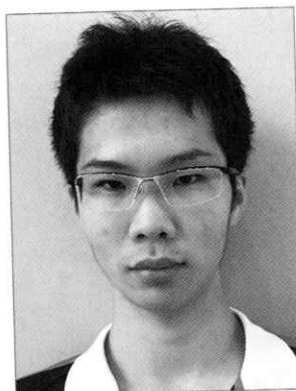
福島 徹平
商1
芝(東京)

受験競争を乗り越え、ふわりとした雰囲気が入部してきたのび太君。彼はいつも右斜め上を向いており、先輩からの話よりも空や天井が気になるお年頃。高校生の時はレギュラーを話し合いで決めていたという彼だが、大学ではしっかりと実力で大会出場をもぎ取るために練習に励む。



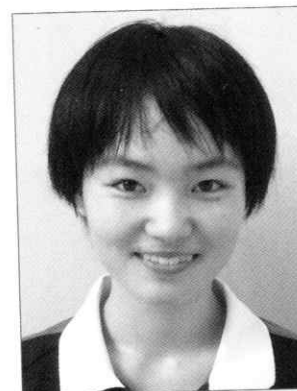
吉弘 昌功
商1
慶應義塾(神奈川)

筋トレが大好き。バドミントンも大好き。一時はバドミントンに活かすために、重量挙げ部に所属していたほど。自主的な筋トレはもちろん、練習中のトレーニングでも人よりも強度を上げてやっている。見た目通りの俊足で、日々の練習に一生懸命取り組む。



岡部 庄之介
理工1
新潟(新潟)

新潟から突如やってきた左利きの一年生。優れたタッチ感覚から、彼への期待度は高い。今日もアニメとロシア語に忙しい。



石川 里沙
文1
香蘭女学校(東京)

世界で2番目に嫌いなお米を克服しつつある石川。彼女の元気の源はあの黒いヘッドフォンから流れてくる音楽!天然すぎる彼女のコート内外での活躍に乞うご期待。



監督
加藤 正裕
 Masahiro Kato
 平成2年経済学部卒
 慶應義塾志木(埼玉)出身
 三菱UFJ国際投信

現役部員に問いかけ新たな気付きを与える育成者。大学4年間を「社会に出る準備の場」と称し、現役部員の多方面での成長を促す。練習後に居残りで技術指導して下さる一面も。



女子監督
加藤 幸司
 Koji Kato
 昭和57年法学部卒
 慶應義塾志木(埼玉)出身
 慶應義塾大学体育研究所

慶應義塾を愛し、バドミントンを楽しみ、現役部員に最も寄り添い己の全てを捧げる男。功績は最早語るまでもない。他人を律し、自分を律するその姿はまさに現役部員の模範。



ヘッドコーチ
竹鼻 拓也
 Takuya Takehana
 法政大学卒
 金沢二水(石川)出身
 NTTドコモ

バドミントンの深さを身体面や技術面、精神面から教える。自らをバドミントンのエリートではないと言い、「食欲に泥臭く」を合言葉に、現役部員の熱い想いに応え厳しく指導する。



男子コーチ
平林 桂祐
 Keisuke Hirabayashi
 平成26年文学部卒
 松本深志(長野)出身
 日本調剤

言葉とは他人に感情を伝える道具にもなり、時に私たちに元気や笑いを与えてくれたりする不思議な存在である。言葉を巧みに操り、現役部員に元気や笑いを交えた熱いメッセージを送り続ける。



女子コーチ
植田 悠
 Haruka Ueda
 平成24年環境情報学部卒
 九州国際大付属(福岡)出身
 全日本空輸

才色兼備という言葉が相応しい、バドミントン部の功労者の一人。その笑顔は見る者を癒し、そのプレーは見る者を魅了する。

(※) 各コーチの紹介欄に掲載されたコメントは、各コーチの人柄や生き様に対して抱いている印象を基に石山副将が書き綴ったもので、コーチ本人の言葉ではないこととおことわりしておきます。